

姫路市パートナーシップ宣誓制度（案）に関する市民意見
（パブリック・コメント）の募集結果について

1 市民意見の提出状況

- (1) 案 件 名：姫路市パートナーシップ宣誓制度（案）
- (2) 意見募集期間：令和3年12月20日（月）～ 令和4年1月28日（金）
- (3) 意見提出件数：16通20件

2 市民意見の件数内訳

分 類	件数	市民意見への対応	
		意見により案を修正するもの	今後の参考とするもの
制度全般について	14	0	14
対象者について	4	0	4
その他	2	0	2
合 計	20	0	20

3 修正する項目

0件

4 意見の概要と市の考え方

番号	分類	市民意見要旨	市の考え方
1	制度全般について	当制度の導入には反対です。理解はしますが、血税を使ってまで行う必要性は感じません。当制度は家庭のあり方を根本から覆すものです。家庭が基本で世の中が成り立っています。	<ul style="list-style-type: none"> 本市では、様々な人権課題に取り組んでおりますが、性的指向や性自認はその一つであり、市として取り組むべき重要な課題であると認識しています。
2	制度全般について	制度導入に大反対です。子どものいじめ問題など早急に着手すべき問題が現実によくあります。愛する姫路市は世の流れに流されず、未来世代の子どものために地に足をつけた市政の舵取りをしていただきたい。私の知人友人にたずねてもLGBTの方を知っている人はいません。一般市民と大差ある読みをするメディアの主張に対し市民の税金でそれらに向けた予算を組むなど愚の骨頂です。当制度は子や孫の結婚観に影響し、家庭観そのものの根幹を揺るがすと感じて恐ろしくなります。	<ul style="list-style-type: none"> 性的マイノリティの方々に対しては、未だに無理解や偏見も多く、日常の生活で困難に直面している現状があります。 本制度を導入することがきっかけとなり、広く市民に性的マイノリティの方々に対する理解が進むことが重要だと考えていることから、周知啓発に努めてまいります。 なお、本制度は、既存の婚姻制度や家族のあり方等を否定するものではありません。
3	制度全般について	職場でも未婚、離婚経験者が多い中、結婚できる経済や子育てしやすい市政を推進してもらいたい。同性婚を求める方やトランスジェンダーの方は一部おられるでしょうが、闇雲に個人主義を助長するのはよくないと思うし、家庭教育を基本としバックアップしてもらいたい。LGBTの方を否定するのは当然人権的によくないですが、それを商業目的に利用し利益を得る方も見受けられます。当制度の導入を積極的に進めることはやめてもらいたい。	
4	制度全般について	パートナーシップの制度化に反対します。	

番号	分類	市民意見要旨	市の考え方
5	制度全般について	<p>同性同士のパートナーシップを認めるようになればさらに少子化が進む。家庭のあり方が人間のところに大きな影響を与えることは間違いなく、子供の未来や人類の未来に大きな影響を与える。結婚は自分だけの楽しみ、幸せで決定してはならず、すでにそういう風潮に追い打ちをかける制度を作るべきではない。一時的な恋愛感情で関係を結ぶことにより、すぐに離婚し家庭を崩壊させる現状により人類の未来が危うくなっている実態があるが、当制度は間違いなくそれを促進してしまうと思う。日本の未来を考えた時に、このようなあたかも本市が一本進んでいるかのように見せるための制度は絶対にやめるべきである。</p>	
6	制度全般について	<p>個人の価値観を尊重することは大切であり、理解することは大事だと思いますが、税金を投じてまで導入する価値のある制度だとは思いません。</p>	
7	制度全般について	<p>当事者の多くは「そっとしておいてほしい」というのが本音だと思います。税金を投じてまで必要な政策なのか、と思います。パートナーシップ制度の導入に中止を求めます。</p>	
8	制度全般について	<p>大多数の一般市民はもっと自分たちの将来に関連する分野に注力してほしいと願っているはずで、行政として流行を追って一時の見栄を求めより、長期の実利を取り、将来に希望が持てるまちづくりに対する施策に資金、資源を投じてもらいたいと願っています。</p>	

番号	分類	市民意見要旨	市の考え方
9	制度全般について	性的マイノリティの方々を理解することは大切だと思いますが、パートナーシップ制度まで作る必要があるのかが疑問です。世の中は賛同する風潮ですが、税金を使ってまでやるべき政策なのか、今後どれだけの利用者があるのかをしっかりと見るべきだと思います。私はこの制度に反対です。	
10	制度全般について	制度導入は大歓迎です。当制度が導入されることで不利益を被る人はいないと思います。本市が多種多様で住みやすいまちになると思います。	
11	制度全般について	私はLGBTQカップルであり、市内に住んでいます。異性カップルと何ら変わりなく生活し、結婚を望んでいますが、今の日本ではまだ認められていないため、せめて当制度を利用したいと思っています。現状では、もしどちらかに何かあっても病院での面会のほか病状説明も受けられません。全ての人に認めてほしいと望んではいませんが、せめて2人が安心して暮らしていける世の中になってほしいと思っています。本市で当制度が導入されないなら導入している近隣市への転居を考えています。	
12	制度全般について	神戸市よりも先にパートナーシップ宣誓制度を導入するということで大変嬉しく思います。	
13	制度全般について	制度導入に賛成します。早く成立し、本人達がより幸せになれるよう応援します。	

番号	分類	市民意見要旨	市の考え方
1 4	制度全般について	とても良い制度だと思います。私も性同一障害の方と10年以上お付き合いしていますが、日本では手術をしないと戸籍を変えられないなど問題がたくさんあります。今現在、世間には理解してもらえつつありますが、まだまだ理解してもらえない部分もあるので、このような制度が出来ることに関して凄く嬉しく思います。	
1 5	対象者について	性自認の方に対する支援は必要だと思いますが、性的指向の方は支援の対象になりえません。それについての議論も必要だと思います。	<ul style="list-style-type: none"> 本制度の検討は、学識経験者のほか、医師会、弁護士会等関係団体の代表、公募市民で構成する姫路市パートナーシップ制度導入懇話会で意見をいただきながら検討してまいりました。
1 6	対象者について	性的マイノリティーの方への差別はいけないと思いますが、LGBTのうちLGBは性的指向であって本来支援の対象にはならないと思います。T（トランスジェンダー）は支援が必要だと思いますが、現行の制度でよいのではないかと思います。	<ul style="list-style-type: none"> 性的指向・性自認とも本人の意思で変えられるものではないことから支援が必要であると考えます。
1 7	対象者について	要綱案の第2条(定義)において、「(2)性的マイノリティとは性的指向が異性愛のみではない者又は性自認が戸籍上の性と異なる者をいう」とありますが、この表現だとトランスジェンダー（性自認）等も含んでしまうため不適切であり、本市制度においては性的指向だけを対象にするべきだと思います。ちなみに諸外国ではトランスジェンダーの自称性を認めないとする法整備などが始まっている状況です。また、「性自認」自体がジェンダーをもとにした考え方に過ぎず、ジェンダーにとらわれた考え方を固執させてしまうとともにジェンダーバイアスを強化してしまうことにもつながるなど、その個人及び社会にとってもマイナスで、男女共同参画にも逆行すると思われる。	

番号	分類	市民意見要旨	市の考え方
18	対象者について	<p>パートナーシップする人たちにも子どもがいる方や子どもがほしい人たちもいると思うので、ファミリーシップ制度もつけてほしいです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> まずはパートナー関係にあるお2人に対する制度を開始し、ファミリーシップについては今後既に導入している他自治体等の運用状況等を参考にしながらの検討課題といたします。
19	その他	<p>パートナーシップ制度は最近のやりでもあり、今なら一部の人権家を気取った層には受けるかもしれないですが、仮に策定をしたとしても配偶者控除や相続税などの優遇措置は設けないなど、婚姻関係との明確な線引きが必要です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本制度は、2人がパートナーである宣誓書を受領したことを証明することによって、自分らしい生き方の実現を図ろうとするもので、権利や義務といった法的な効力は発生しません。制度の周知啓発の際には十分説明を行うことといたします。
20	その他	<p>この制度を皮切りにマイノリティーの方が住みやすいまちづくりとして、同性婚の認定等の法改正についても本市から積極的に取り組んでいってほしい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 婚姻は法律行為であるため市において取り組むことはできませんが、パートナーシップ宣誓制度の重要性は認識しております。市民の皆様身近な地方自治体だからこそできる多様な性のあり方が尊重される地域社会の実現に向けて取り組んでいきたいと考えています。